

## 目標達成計画

作成日:令和5年5月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に事故報告や行事等運営状況が分かる資料を加えることが望まれる。また、より多くの委員に参加頂ける工夫が必要。	事業所の運営状況の透明性を向上させる	会議開催時事故報告や行事実施時の入居者の様子が分かる資料を添付し委員の皆様のご意見を頂く。また、感染拡大などやむを得ない状況を除いて参集頂けるよう働きかける。	12ヶ月
2	6	身体拘束に関する指針について委員構成や役割開催頻度など不明確な部分の見直しが必要。	指針の見直しを行い整備する	身体拘束廃止関連の行政や介護保険施設の参考資料を情報収集し、適切な指針を作成する。	3ヶ月
3	33	入居者が重度化、状態変化、終末期となった場合の対応について口頭での説明はあるが同意書は整備されていない。	入居者の重度化や終末期の対応について同意書を作成する	各方面より同意書に関する資料を収集。また、ご家族の意見も参考にしながら重度化等になった場合の同意書を作成し、ご家族に同意を得る。	12ヶ月
4	35	水害発生時や夜間想定避難訓練時は災害時の近隣住民協力体制構築が望まれる。	水害や夜間を想定した避難訓練を実施する	災害に合わせた避難方法、避難経路を検討し、訓練に備える。また、避難訓練時、入居者の見守りなど協力頂ける者を募る。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。